

**令和7年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
第2次選考試験 模擬授業の実施について【中学校社会】**

1 模擬授業の内容について

- ・模擬授業については、対象学年を中学校第1学年と想定し、1単位時間の授業の導入場面を5分間で行う。
- ・中学校社会科地理的分野の内容の「B 世界の様々な地域」における、「(2) 世界の諸地域」について、教科書「新しい社会 地理」p.74～p.87（東京書籍）の中から1ページ以上の内容を選択して模擬授業を行う。

2 実施方法について

- ・試験官から指示があった後、黒板前に移動し、模擬授業を始める前に、該当の教科書のページを口頭で伝える。
- ・同じグループの他の受験者を生徒に見立て、実際にやり取りをしながら授業を進める。
- ・I C T機器やその他の教具等は、実際には使用しないが、教室に準備されていることを想定して模擬授業を行ってもよい。

【教室に想定されているI C T機器やその他の教具等】

- ・生徒用I C T端末（1人1台のタブレット端末）
- ・教師用I C T端末（1台のタブレット端末）
- ・大型提示装置
- ・実物投影機
- ・地図（ヨーロッパ州）
- ・地球儀

- ・必要に応じて黒板を使用してもよい。チョークは用意してあるものを使用する。
- ・教科書やメモ（2次試験前に準備した授業構想を記したメモ）、中学校学習指導要領解説社会科編を試験会場に持ち込んでもよい。このメモを見ながら模擬授業を行ってもよい。
- ・このメモの内容は試験の評価の対象とはしない。提出は不要とする。

【メモについて】

- ・A4サイズ1枚（両面使用可）とする。
- ・指導案、口述原稿など、模擬授業に必要な内容を自由に書いてよい。
- ・メモを教材や資料等と見立てて示したり、黒板等に掲示したりすることはできない。

- ・模擬授業を終えた時点で、試験官に「以上です。」と伝える。